

令和 5 年 6 月 2 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H01138

研究課題名(和文)在宅高齢者・認知症当事者の「こころ」の外化に基づく自助・互助支援システムの開発

研究課題名(英文)Assisting self care and mutual aid of elderly people with dementia at home based on mind externalization

研究代表者

中村 匡秀 (NAKAMURA, Masahide)

神戸大学・数理・データサイエンスセンター・教授

研究者番号：30324859

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,800,000円

研究成果の概要(和文)：在宅の高齢者や認知症当事者を対象として、自助・互助をサポートするための方法を提案し、一般家庭に導入可能なシステムとして構築した。提案システムでは、バーチャル・エージェントが本人の不安や希望などの「こころ」と必要な支援サービスを仲介し、高齢者に複雑な操作を要求することなく自助・互助を支援する。(S0)センシング基盤に関する成果として、「こころ」センシングサービスやマイクロサービス連携手法等の研究を行った。(S1)自助支援サービスに関する成果として「こころ」の見守りサービス、もの忘れ支援サービス等を開発した。(S2)互助支援サービスに関する成果として、困り事・対処法共有推薦サービス等を開発した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

超高齢社会において、介護人材や介護施設の不足が一層深刻化する中、工学技術による高齢者支援、すなわち、ジェロンテクノロジーは世界中で期待されている。本研究では、最新のIoTとエージェント技術を用いて、在宅高齢者の「暮らし」と「こころ」を見守り、必要なサービスや仲間に「つなぐ」ことで、自立生活を延伸しようとする試みであり、社会的な意義が極めて大きい。また、本システムを通して得られる環境・行動データや、エージェントとの対話ログは、高齢者の在宅生活を表現するリアルワールド・データとして、「個人に寄り添った医療」への活用が見込まれる。今後、研究を進展させ高齢者が生き生きと暮らせる社会の実現に貢献したい。

研究成果の概要(英文)：We proposed a method to support self-help and mutual assistance for the elderly and people with dementia at home and constructed a system that can be introduced into ordinary households. In the proposed system, a virtual agent mediates between the "mind" of the elderly person and necessary support services. It assists self-aid and mutual voluntary aid without complicated operations from the elderly person. (S0) Research on sensing infrastructure, such as the mind sensing service and agent-microservice integration framework, was conducted. (S1) We developed mind-monitoring and forgetfulness support services as a result of self-help support services. (S2) As a mutual aid support service, we developed services including the community-based problem/solution sharing service.

研究分野：サービス・コンピューティング

キーワード：センサ情報システム 「こころ」センシング 在宅介護 認知症 IoT エージェント対話

1. 研究開始当初の背景

現在我が国は超高齢社会を迎えており、それに伴う認知症当事者への対応が急務な課題である。介護人材や介護施設の不足が一層深刻化する中、政府は介護施設の増設ではなく、在宅介護への転換を促している。厚生労働省が進める地域包括ケアシステムは「自助」「互助」「共助」「公助」によりなるが、少子高齢化や財政を考えると「自助」「互助」を意識した取り組みが一層重要になることは自明である。しかしながら、多くの在宅高齢者にとって認知症に対する「自助」を早期から遂行することは容易ではない。「互助」に関しては、都市化や核家族化に伴って近所づきあいや仲間づくりの機会が減り、在宅生活を続けながら互助活動をするのは難しい。

2. 研究の目的

本研究の目的は、在宅の高齢者や認知症当事者らを対象として、本人の在宅生活における自助・互助をサポートするための方法を提案し、一般家庭に導入可能なシステムとして構築することである。研究においては「高齢者や認知症当事者が、在宅生活において、認知症に対する自助・互助を早期から継続的に実践できるようにするための方策」を学術的な「問い」に設定する。そして、研究代表者の専門分野である IoT (Internet of Things) とバーチャル・エージェント (PC 上で音声対話や動作を行う人型のロボットプログラム)、クラウドを核としたスマートホーム技術と、「こころ」センシングなどを活用した工学的支援の観点から、この課題に取り組む。

3. 研究の方法

提案システムでは、バーチャル・エージェント（以下 VA）が本人の不安や希望などの「こころ」と、それらの解決や実現に必要な支援サービスを仲介し、高齢者に複雑な操作を要求することなく、自助・互助の支援を提供する。以下の 3 つの部分から構成される。

(S0) 対認知症スマートホーム基盤：対象者の在宅生活を見守り、支援サービスを提供するプラットフォーム。宅内の IoT と VA を利用して対象者の状態をセンシングする。IoT による一般的な環境・行動センシングに加えて、VA との対話による「こころ」センシングを行い、センサで観測できない対象者の心の内（体調、気分、不安、困りごと等）を言葉に外化させて記録する。

(S1) 自助支援サービス：対象者の在宅生活上の課題を「自力で解決する」ための支援・介入を行うアプリケーション群。システムは各種センシングを通して本人の身体的、環境的な状況をリアルタイムに理解する。そして、インターネット上の情報やサービス、関係機関、支援者に積極的につなぎ、外部のリソースを最大限活用しながら、健常高齢者～MCI 期での「自助」を支える。

(S2) 互助支援サービス：高齢者同士をつなぎ「仲間同士で助け合う」機会を創出するアプリケーション群。デジタルツインの情報を利用して、同じ悩みや関心事を持つ高齢者同士をマッチングし、VA がコミュニケーションを取り次ぐ。互いの信頼関係が生まれたら、チャットやテレビ電話アプリで直接連絡し、互助のネットワークを形成する。

4. 研究成果

(S0) 対認知症スマートホーム基盤に関連する研究成果

(1) 「こころ」センシングのための対話エージェント「メイちゃん」

センサでは捉えきれない高齢者の内的状態を、対話を通して外化させ記録する「こころ」センシングを実施するための、2 種類の対話エージェントを開発・実装した。1 つ目は「PC メイちゃん」と呼ばれる PC 上で高齢者と音声で対話を行うエージェントである。名古屋工業大学で開発された MMDAgent ツールキットを改造して、サービス指向アーキテクチャによって対認知症スマートホーム基盤と連携可能にした。2 つ目は「LINE メイちゃん」と呼ばれる高齢者とテキストで対話を行うエージェントである。普及が進んでいる LINE を利用して、高齢者とエージェントが非同期的で対話を行う。図 1 に開発した 2 つのエージェントシステムを示す。

(2) 「こころ」センシングサービス

上記のエージェントシステムを様々なアプリケーション・サービスから横断的に利用するために、「こころ」センシングサービスを研究開発した。このサービスは、個別のユーザや個々のアプリケーションに応じて、カスタマイズされた「こころ」センシングを、ルールベースで実装するサービスである。ユーザは、時間に応じてエージェントに問いかけさせる時間ベースルールと、外部システムのイベントに反応してエージェントに問いかけさせるイベントベースルールを定義し、それぞれどのような問いかけアクションをどのエージェントで実行するのかを指定できる。ルールが定義されると、サービスはルールに従って自動的に「こころ」センシングのトリガーをかけ、各エージェントが高齢者との対話を始める。

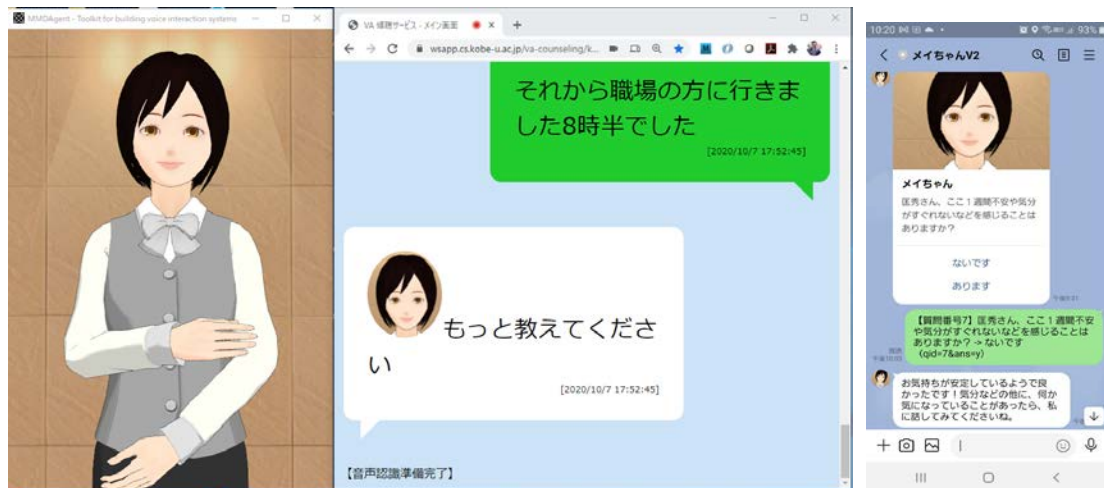


図 1 開発した対話エージェントシステム. 左: PC メイちゃん, 右: LINE メイちゃん
(C) 2009-2018 Nagoya Institute of Technology (MMDAgent Model“Mei”)

(3) 個人に寄り添った対話生成技術

エージェントと高齢者との対話を活発化するためには、高齢者個人に寄り添った話題を取り上げることが重要である。そこで高齢者個人にまつわる情報・知識（個人オントロジーと呼ぶ）を活用して、個人に寄り添った話題を生成する手法を研究開発した。具体的には、その人の生活史にまつわる話題を動的に生成する方法や、高齢者の年代に応じて流行・出来事的话题を検索して用いる方法等を提案した。また、エージェントとの対話を通して、個人オントロジーを動的に形成・発展させ、Linked Dataとして表現して外部のオープンデータと接続する手法も開発した。さらに、対話中の概念構造を分析することで、その人が特に興味を持っていること（個人関心事）を発見する手法の開発にも取り組んだ。

(4) エージェント・マイクロサービス連携

対話エージェントと様々なマイクロサービスを連携して、エージェントが提供可能なサービスを拡張するフレームワークの提案を行った。具体的には、Web 検索や YouTube 等の既存のインターネットサービスの Web-API を、(1)で開発したエージェントの対話シナリオに連携させる。高齢者は「メイちゃん」に音声で依頼するだけで、各種サービスを利用できるようになる。スマートフォンやPCの機器操作を必要とせず、対話のみでインターネット上の情報資源にアクセスできるようになるため、生活の質(QoL)の向上につながる。また、ウェアラブル活動量計で取得する睡眠やストレスの健康データをクラウド上のサービス経由でエージェントと連携するシステムの開発も行った。これにより、「メイちゃん」がストレスや睡眠にまつわる話題を対話に取り込むことが可能になり、高齢者の健康管理を行う自助支援サービスに活用できる。

(S1) 自助支援サービスに関連する研究成果

(5) 対話ログを活用した物忘れ支援サービス

「こころ」センシングを通して記録される高齢者とエージェントとの対話の履歴を、高齢者自身がいつでも取り出せるようにすることで、物忘れ支援に役立てるサービスを開発した。本サービスでは、システムがPCメイちゃんやLINEメイちゃんとの対話の履歴をテキストで管理し、高齢者が言い間違いや誤認識等に伴う誤りの修正を行うとともに、話題の分類を行う。高齢者は時刻やキーワード、カテゴリで過去のつぶやきを検索できる。このサービスによって高齢者はいつでもどこでも情報を記録し、取り出すことができるようになるため、物忘れ支援に大きく役立つ。図 2 に開発した物忘れ支援サービスの画面を示す。

(6) 「こころ」センシングを通じた健康状態の記録サービス

対話エージェントが「こころ」センシングにおいて、高齢者の日々の健康に関する問いかけをすることで、経時的な健康状態を記録・可視化するサービスの研究開発を行った。具体的には、高齢者が普段気にかけている健康に関する測定値の種類（血圧、体重、体温、調子など）と型を予めサービスに登録しておく、サービスがLINEメイちゃんを通じて問いかけを行う。高齢者が測定値を回答すると、システムはタイムスタンプをつけて記録する。可視化においては、サービスはテキスト解析を通して測定値を自動抽出し、グラフに表示する。あくまで高齢者の自己申告にはなるが、IoT化された高価な健康測定機器を使わずとも、経時的な健康記録を手軽に行うことができる。



図 2 物忘れ支援サービス

(7) 「こころ」の見守りサービス

LINE メイちゃんによる「こころ」センシングサービスを活用して、高齢者の「こころ」の状態を長期間にわたって見守る「こころ」の見守りサービスの研究開発を行った。このサービスでは、エージェントが高齢者の健康を身体面、精神面、社交面の3つの側面から評価する質問を投げかけ、高齢者の回答（ポジティブまたはネガティブ）とその理由を収集する。独自に開発したスコアリング手法に基づいて、システムはスコアの低かった項目について週次でフィードバックを行い、高齢者に気づきを与える。また、8名の高齢者を対象に、14か月にわたる実証評価実験を行った。2名がドロップアウトしたものの、残り6名について継続的な見守りが行えたこと、うち4名は90%を超える回答率を得たこと、スコアリングされた「こころ」の状態が実際の生活の中のイベントに連動して推移したこと、センサでとらえきれない心のうちをエージェントとの対話によって外化できた等が確認できた。図3に「こころ」の見守りサービスの画面を示す。



図 3 「こころ」の見守りサービス

(8) ALPS: Assisted Living by Personalized Speakers

認知機能に不安がある高齢者や認知症当事者を対象として、本人の在宅生活に適應する形で、必要な情報を必要な場所必要な時に音声提示するシステム ALPS (Assisted Living by Personalized Speaker)の研究開発を行った。ALPS は、人感センサ付きのIoT スピーカーを宅内の要所に設置し、クラウド上のECA (Event-Condition-Action) ルールと連携することで、場所と時間に応じた情報を音声で提供する。提案するALPSのプロトタイプを実装し、二名の高齢者を想定したケーススタディを行った。その結果、それぞれの困りごとに合わせたECAルールを定義することで、個人の生活スタイルに合わせた情報提示が出来ることが分かった。

(S2) 互助支援サービスに関連する研究成果

(9) Compass4SL: 困り事・対処法共有推薦サービス

在宅高齢者を対象とした困り事・対処法共有サービス Compass4SL (Community-based Problem and Solution Sharing Service for Senior Living) の研究開発を行った。Compass4SL は、高齢者の在宅生活においてよく発生する困り事とその対処法を、集合知として共有するプラットフォーム・サービスである。より具体的には、困り事を持つ人が、自分の状況にあった対処法を自力で検索し、解決できるようにするとともに、困り事への対処法を知っている人が、アイデアやツールを共有し、互いに助け合う互助の機会を創出する。困り事を持つ人は、対処法を実践した効果の評価やコメントを投入することで、コミュニティ内のコミュニケーション促進や、対処法登録へのモチベーション向上につなげる。図 4 に Compass4SL の実行画面を示す。



図 4 Compass4SL の実行画面

(10) エージェント対話ログ分析・共有サービス

「こころ」センシングを通して、高齢者がエージェント「メイちゃん」と対話した履歴データ（対話ログ）を、高齢者自身が振り返り、手軽に分析できるようにするサービスを開発した。キーワードや時期による対話ログの絞り込み検索にとどまらず、対話数の推移や対話ログの内容表示、健康データの確認機能も備えている。自身の対話ログを高齢者が簡単に分析できることによって、日々の生活の確認や健康に対する意識の向上、長期的な推移からの気づきを得ることが期待できる。また、高齢者の同意のもと、家族や知人にデータを開示・共有することで、データに基づく見守り・互助の形成が可能となる。

(11) 三田市における実証評価実験

兵庫県三田市の協力の下、開発したシステムを実際の高齢者の自宅に設置し、高齢者とその家族に与える影響を調査する実証実験を行った。三田市在住の高齢者 12 名に協力していただき、事前に実験の目的・方法を説明し、インフォームドコンセントを取得した。それぞれの自宅に 2 週間メイちゃんを設置していただき、対話を行ってもらった。実験では (RQ1) 高齢者自身がメイちゃんを受け入れ、対話することができるか？ (RQ2) 遠方に住むご家族の見守りに役立つのか？ の 2 つの問いについて、ともに支持された。また、普段人との関わりが少ない人は、メイちゃんと多く発話する、92%の被験者がメイちゃんとの対話が楽しかったと答えた、75%の被験者がまた使いたいと回答した、67%の被験者がメイちゃんとの対話によってストレスの軽減や健康意識の向上を感じた、92%の被験者がメイちゃんにより孤独感が解消されると答えた、音声の誤認識や会話の不自然さがストレスになることもあり、見守り側も同様、対話ログから高齢者の様子を取得することができた、遠隔でも簡単に見守ることが可能、メイちゃんによるネットサービスの利用は難しくはないが、使う人と使わない人に大きく分かれた、Garmin による健康対話によって 80%の被験者が健康意識に良い変化があったと答えた、等の知見が得られた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計24件（うち査読付論文 24件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 23件）

1. 著者名 Miura Chisaki, Sinan Chen, Sachio Saiki, Masahide Nakamura, Kiyoshi Yasuda	4. 巻 Vol.22, No.10: 3829
2. 論文標題 Assisting Personalized Healthcare of Elderly People: Developing a Rule-Based Virtual Caregiver System Using Mobile Chatbot	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sensors	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/s22103829	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Sinan Chen, Masahide Nakamura, Kenji Sekiguchi	4. 巻 Vol.12, No.20: 10507
2. 論文標題 Consecutive and Effective Facial Masking Using Image-Based Bone Sensing for Remote Medicine Education	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Applied Sciences	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/app122010507	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Aoi Nagatani, Sinan Chen, Masahide Nakamura, Sachio Saiki	4. 巻 Vol.10, No.nan
2. 論文標題 Exploiting Motivation Subscales for Gamification of Lifelogging Application	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Software Innovation (IJSI)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4018/IJSI.313445	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 高塚 由利子, 村上 優佳紗, 角田 雅照, 中村 匡秀	4. 巻 Vol. J104-D, No.5
2. 論文標題 性別に着目したソースコード理解速度の分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 電子情報通信学会論文誌	6. 最初と最後の頁 521-525
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村 匡秀	4. 巻 Vol.36, No.7
2. 論文標題 IoT とエージェントで見守る在宅高齢者の「暮らし」と「こころ」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BIO Clinica	6. 最初と最後の頁 39-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kosuke Hirayama, Sinan Chen, Sachio Saiki, Masahide Nakamura	4. 巻 Vol.21, No.20: 6726
2. 論文標題 Toward Capturing Scientific Evidence in Elderly Care: Efficient Extraction of Changing Facial Feature Points	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sensors	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/s21206726	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takuya Nakata, Sinan Chen, Masahide Nakamura	4. 巻 Vol.15, No.5: 1729
2. 論文標題 Uni-Messe: Unified Rule-Based Message Delivery Service for Efficient Context-Aware Service Integration	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Energies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/en15051729	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koji Toda, Haruaki Tamada, Masahide Nakamura, Kenichi Matsumoto	4. 巻 Vol.8, No.3
2. 論文標題 Capturing Spontaneous Software Evolution in a Social Coding Platform With Project-as-a-City Concept	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Software Innovation (IJSI)	6. 最初と最後の頁 35-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4018/IJSI.2020070103	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sinan Chen, Sachio Saiki, Masahide Nakamura	4. 巻 Vol. 20, No. 20: 5894
2. 論文標題 Nonintrusive Fine-Grained Home Care Monitoring: Characterizing Quality of In-Home Postural Changes Using Bone-Based Human Sensing	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sensors	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/s20205894	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yukasa Murakami, Masateru Tsunoda, Masahide Nakamura	4. 巻 Vol. E104-D, No. 1
2. 論文標題 Relationship between Code Reading Speed and Programmers' Age	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IEICE Transaction on Information and Systems	6. 最初と最後の頁 121-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/transinf.2020mp10002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐伯 幸郎, 福安 直樹, 神田 哲也, 市川 昊平, 吉田 真一, 中村 匡秀, 楠本 真二	4. 巻 Vol. 38, No. 1
2. 論文標題 自己評価と客観評価の変化に基づく実践的人材育成コースにおける質的教育効果の測定	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 コンピュータソフトウェア	6. 最初と最後の頁 52-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11309/jssst.38.1_52	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taisho Sasada, Zhaoyu Liu, Tokiya Baba, Kenji Hatano, Yusuke Kimura	4. 巻 176
2. 論文標題 A Resampling Method for Imbalanced Datasets Considering Noise and Overlap	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Procedia Computer Science	6. 最初と最後の頁 420-429
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.procs.2020.08.043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryoki Sasaki, Naofumi Otsuru, Shota Miyaguchi, Sho Kojima, Hiraku Watanabe, Ken Ohno, Noriko Sakurai, Naoki Kodama, Daisuke Sato, Hideaki Onishi	4. 巻 Vol.11, No.395
2. 論文標題 Influence of Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype on Short-Latency Afferent Inhibition and Motor Cortex Metabolites	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain Sciences	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci11030395	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto H., Kawagoe T., Otake-Matsuura M.	4. 巻 Vol.20, No.486
2. 論文標題 Characteristics of resting-state functional connectivity in older adults after the PICMOR intervention program: a preliminary report	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Geriatrics	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-020-01892-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Abe M.S., Otake-Matsuura, M.	4. 巻 Vol.16, No.2
2. 論文標題 Scaling laws in natural conversations among elderly people	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0246884	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mohamed, S. Picciarriello, A., Connelly, B., Belgrave, D.C.M., Ezer, D., Cachat van der Haert, F., Mugisha, F., Abila, G., Arai, H., Almiraat, H., Proskurnia, J., Snyder, K., Otake-Matsuura, M., Othman, M., Glasmachers, T., de Wever, W., Teh, Y.W., Khan, M. E., Winne, R.D., Schaul, T., Clopath, C.	4. 巻 11
2. 論文標題 AI for social good: unlocking the opportunity for positive impact	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-15871-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takuhiro Kagawa,Sachio Saiki,Masahide Nakamura	4. 巻 Vol.15, No.2
2. 論文標題 Analyzing Street Crimes in Kobe City Using PRISM	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Web Information Systems (IJWIS)	6. 最初と最後の頁 183-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/IJWIS-04-2018-0032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sinan Chen,Sachio Saiki,Masahide Nakamura	4. 巻 Vol. 8, No.1
2. 論文標題 Towards Affordable and Practical Home Context Recognition: - Framework and Implementation with Image-based Cognitive API -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Networked and Distributed Computing (IJNDC)	6. 最初と最後の頁 16-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2991/ijnkc.k.191118.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sinan Chen,Sachio Saiki,Masahide Nakamura	4. 巻 Vol.20, No.3: 666
2. 論文標題 Integrating Multiple Models Using Image-as-Documents Approach for Recognizing Fine-Grained Home Contexts	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sensors	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/s20030666	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐伯 幸郎,福安 直樹,神田 哲也,市川 昊平,吉田 真一,中村 匡秀,楠本 真二	4. 巻 Vol.37, No.1
2. 論文標題 自動発注問題を題材とした実践的人材育成コースにおける授業改善	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 コンピュータソフトウェア	6. 最初と最後の頁 19-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11309/jssst.37.1_19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sinan Chen, Sachio Saiki, Masahide Nakamura	4. 巻 Vol.20, No.5
2. 論文標題 Toward Flexible and Efficient Home Context Sensing: Capability Evaluation and Verification of Image-Based Cognitive APIs	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sensors	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/s20051442	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kiyoshi Yasuda, Jin Narumoto, Mutsuo Sano, Noriaki Kuwahara, Kazuhiro Kuwabara	4. 巻 Vol.1, No. 1
2. 論文標題 The sustained and selective effectiveness of a videophone conversation for individuals with dementia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer 's Research and Therapy	6. 最初と最後の頁 6-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小杉尚子, 児玉直樹, 清水幸子, 数井裕光	4. 巻 Vol.15, No.2
2. 論文標題 認知症高齢者に対する遠隔音楽療法の効果	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本遠隔医療学会雑誌	6. 最初と最後の頁 145-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小杉尚子, 児玉直樹, 相川直子, 當山房子	4. 巻 Vol.9, No.1
2. 論文標題 遠隔音楽療法の現在、そして将来~世界中の認知症高齢者に音楽療法を届けるために~	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本認知症予防学会学会誌	6. 最初と最後の頁 3-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計166件（うち招待講演 6件 / うち国際学会 65件）

1. 発表者名 陳思楠, 中村匡秀, 関口兼司
2. 発表標題 医学教育のための臨床現場の安全なストリーミングシステムの開発
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.122, No.50, SC2022-5
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sinan Chen, Hayato Ozono, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Integration Analysis of Heterogeneous Data on Mind Externalization of Elderly People at Home
3. 学会等名 8th International Conference, ITAP 2022, Held as Part of the 24th HCI International Conference, HCII 2022, Vol.LNCS 13331 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hayato Ozono, Sinan Chen, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Encouraging Elderly Self-care by Integrating Speech Dialogue Agent and Wearable Device
3. 学会等名 8th International Conference, ITAP 2022, Held as Part of the 24th HCI International Conference, HCII 2022, Vol.LNCS 13331 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takuya Nakata, Tasuku Watanabe, Sinan Chen, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Integrating Uni-messe and FIWARE for Low-Code Development of Complex Context-Aware Applications
3. 学会等名 8th International Conference, ITAP 2022, Held as Part of the 24th HCI International Conference, HCII 2022, Vol.LNCS 13325 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1 . 発表者名 Hayato Ozono,Sinan Chen,Masahide Nakamura
2 . 発表標題 Evaluating Assistive Spoken Dialogue Agent System in Daily Living of Elderly People
3 . 学会等名 The 35th Global Conference of Alzheimer's Disease International (ADI2022), (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Yuko Yamaguchi,Zhang Xuanrong,Sonoko Kabaya,Masahide Nakamura,Chieko Greiner
2 . 発表標題 Sleep duration and efficiency and their related factors in people with dementia and their family caregivers in Japan
3 . 学会等名 The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG2022), (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Takumi Akashi,Masahide Nakamura,Kiyoshi Yasuda,Sachio Saiki
2 . 発表標題 ALPS:Assisted Living by Personalized Speakers for People with Dementia
3 . 学会等名 The 35th Global Conference of Alzheimer's Disease International (ADI2022), (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Kohei Terakawa,Sinan Chen,Masahide Nakamura
2 . 発表標題 Preliminary Study of Reasoning Existing Projects ' Descriptions Based on Classname Word Elements
3 . 学会等名 2022 23rd ACIS International Summer Virtual Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing (SNPD-Summer), (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名 Hiro Horie, Sinan Chen, Masahide Nakamura, Kiyoshi Yasuda
2. 発表標題 Study of Stress Relief Service by Watching Personalized Videos for Elderly People at Home
3. 学会等名 2022 IEEE International Conference on Industry 4.0, Artificial Intelligence, and Communications Technology (IAICT), (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Aoi Nagatani, Sinan Chen, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Developing a Gamification Method Based on Motivation Subscales for Lifelogging Applications
3. 学会等名 2022 23rd ACIS International Summer Virtual Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing (SNPD-Summer), (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Tomoro Nakahashi, Sinan Chen, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Study of Service to Assist Platform Deployment of Heterogeneous {IoT}
3. 学会等名 23rd IEEE-ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel Distributed Computing (SNPD2022), (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sinan Chen, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Developing a Facial Identification System Using Pre-Trained Model and Spoken Dialogue Agent
3. 学会等名 Fifth International Balkan Conference on Communications and Networking (BalkanCom2022), (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 陳思楠, 中村匡秀
2. 発表標題 事前学習済みモデルと音声対話エージェントを用いた顔識別システムの開発
3. 学会等名 日本機械学会 第 32 回設計工学・システム部門講演会, , No.1204
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 蒲谷苑子, グライナー智恵子, 中村匡秀, 山口裕子, 張けん容
2. 発表標題 認知症高齢者を在宅で介護する家族介護者のストレスの日内変動の可視化
3. 学会等名 第10回看護理工学会学術集会,
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sinan Chen, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Integrating Multiple Dialogue Agents Using {WebRTC} for Facilitating Elderly Mutual-Aid at Home
3. 学会等名 ISG's 13th World Conference of Gerontechnology, (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sonoko Kabaya, Chieko Greiner, Masahide Nakamura, Yuko Yamaguchi, Zhang Xuanrong
2. 発表標題 Exploration of Care Contents Affecting Stress Variability in Family Caregivers of Older People with Dementia
3. 学会等名 The Gerontological Society of America's 2022 Annual Scientific Meeting (GSA2022), (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sinan Chen, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Study of Multi-Modal Diary Service Using Spoken Dialogue Agent for Self-Care in Elderly People
3. 学会等名 2022 1st International Conference on Software Engineering and Information Technology (ICoSEIT), (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 明石拓弥, 中村匡秀, 佐伯幸郎, 安田清, 陳思楠
2. 発表標題 在宅高齢者の生活ログに基づいたALPS支援ルール推薦手法の検討
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.122, No. 239, SC2022-30
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中田 匠哉, 陳 思楠, 佐伯 幸郎, 中村 匡秀
2. 発表標題 効率的なソフトウェアアップサイクルのための事例知識ベースの予備的評価
3. 学会等名 ソフトウェア工学の基礎ワークショップ FOSE2022,
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takuya Nakata, Sinan Chen, Sachio Saiki, Masahide Nakamura
2. 発表標題 A Study of Case Sharing System for Efficient and Innovative Software Upcycling
3. 学会等名 Proceedings of 2022 International Conference on Data and Software Engineering (ICoDSE), (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 雲丹亀和希, 中村匡秀, 佐伯幸郎, 陳思楠, 安田清
2. 発表標題 在宅高齢者の自助支援に向けたエージェント対話ログ分析サービスの検討
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.122, No. 239, SC2022-29
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 張けん容, グライナー智恵子, 山口裕子, 蒲谷苑子, 中村匡秀
2. 発表標題 認知症高齢者を介護する家族介護者の睡眠の質とその関連要因の検討
3. 学会等名 第42回日本看護科学学会学術集会,
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山口裕子, グライナー智恵子, 蒲谷苑子, 張けん容, 中村匡秀
2. 発表標題 家族介護者におけるVirtual Agentとのコミュニケーションを通じた認知症介護に対する思いの抽出
3. 学会等名 第42回日本看護科学学会学術集会,
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中田 匠哉, 陳 思楠, 佐伯 幸郎, 中村 匡秀
2. 発表標題 効率的なソフトウェアアップサイクルのための事例知識ベースの構築と予備的評価
3. 学会等名 第4回次世代ソフトウェアエコシステムワークショップ,
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡本大, 陳思楠, 中村匡秀
2. 発表標題 仮想エージェントとビデオ会議サービスを連携した在宅高齢者の会話機会の創出
3. 学会等名 仮想エージェントとビデオ会議サービスを連携した在宅高齢者の会話機会の創出,
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中田 匠哉, 陳 思楠, 佐伯幸郎, 中村 匡秀
2. 発表標題 音声対話エージェントを活用したサービス個人適応に向けたユーザニーズ抽出手法の検討
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.122, No.345 KBSE2022-45
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大園隼人, 陳思楠, 中村匡秀
2. 発表標題 音声対話エージェントを活用した在宅高齢者の支援と見守りを行うシステムの実証実験
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.122, No.338, LOIS2022-43
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sinan Chen, Hayato Ozono, Masahide Nakamura, Kiyoshi Yasuda
2. 発表標題 Quantitative Expression of Elderly Multi-Modal Emotions with Spoken Dialogue Agent and Edge {AI}
3. 学会等名 2023 6th IEEE Eurasian Conference on Educational Innovation (ECEI), (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中田 匠哉, 陳 思楠, 佐伯幸郎, 中村 匡秀
2. 発表標題 ソフトウェアアップサイクルのための事例共有システムの開発と評価
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.122, No.432 SS2022-72
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 寺川 航平, 陳 思楠, 佐伯幸郎, 中村 匡秀
2. 発表標題 メソッド名構成単語に基づくソフトウェア概要推測に関する検討
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.122, No.448 SC2022-45
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 堀江 寛, 陳 思楠, 中村 匡秀, 安田 清
2. 発表標題 個人適応型の動画を活用した在宅高齢者のための ストレス解消サービスの実証実験
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.122, No.448, SC2022-48
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 金田真輝, 陳思楠, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 大規模救急データと年代別人口推計データに基づく長期的救急需要予測手法の提案
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.122, No.423, L01S2022-54
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 吉田健, 陳思楠, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 Uni-messe とIoT を活用した ハイブリッド会議空間の自動管理 サービスの提案
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 122, No. 423, L01S2022-62
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田坂風月, 陳思楠, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 宅内環境センシングデータに基づく在宅高齢者の生活習慣の分析と 可視化
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 122, No. 423, L01S2022-62
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 定光郁斗, 陳思楠, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 浴室空間でのスマートサービス提供に向けた音声認識の予備的評価
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 122, No. 423, L01S2022-62
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松場建都, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 火災調査報告書のテキストマイニングによる出火原因の自動抽出
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 122, No. 448 SC2022-41
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中村匡秀
2. 発表標題 さんだ里山スマートシティ
3. 学会等名 三田市生涯学習サポートクラブ・オープンセミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 関本竜吉, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 児玉直樹, 佐藤厚
2. 発表標題 描画検査遂行過程の分析を支援するアプリケーションEVIDENTの研究開発
3. 学会等名 日本認知症予防学会学術集会プログラム・予稿集,
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 明石拓弥, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 安田清
2. 発表標題 在宅高齢者を支援する個人適応型スピーカーサービスの提案
3. 学会等名 日本認知症予防学会学術集会プログラム・予稿集,
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村 匡秀, 雲丹亀 和希, 佐伯 幸郎, 安田 清
2. 発表標題 在宅高齢者・認知症当事者を対象とした困り事・対処法共有サービスの研究開発
3. 学会等名 第10回?本認知症予防学会学術集会, Vol.023, No.5
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sinan Chen, Masahide Nakamura, Sachio Saiki
2. 発表標題 Developing a Platform of Personalized Conversation Scenarios for In-Home Care Assistance
3. 学会等名 The 2021 IEEE International Conference on Industry 4.0, Artificial, Intelligence, and Communication Technology (IAICT'21), (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中田 匠哉, 中村 匡秀
2. 発表標題 コンテキストに基づくサービス連携を支援するイベントルーチングサービスの検討
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.157 SC2021-16
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中井 哲也, 佐伯 幸郎, 中村 匡秀
2. 発表標題 気象予報を活用した熱中症救急需要の中期予測手法の検討
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.157 SC2021-16
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 陳思楠, 中村匡秀
2. 発表標題 対話ログ要約に基づく個人適応対話の生成
3. 学会等名 日本機械学会 第 31 回設計工学・システム部門講演会, No.3407
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大園隼人, 陳思楠, 中村匡秀
2. 発表標題 対話エージェントを活用した音声対話によるマイクロサービス実行フレームワークの考察
3. 学会等名 日本機械学会 第 31 回設計工学・システム部門講演会, , No.3408
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村 匡秀
2. 発表標題 IoTとエージェントで見守る在宅高齢者の「暮らし」と「こころ」
3. 学会等名 老年精神医学雑誌, Vol.32
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 陳思楠, 中村匡秀
2. 発表標題 ソフトウェアアップサイクルのためのプロジェクトモジュールのカタログ化の検討
3. 学会等名 第2回次世代ソフトウェアエコシステムワークショップ,
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Takumi Akashi, Masahide Nakamura, Kiyoshi Yasuda, Sachio Saiki
2. 発表標題 Proposal for a Personalized Adaptive Speaker Service to Support the Elderly at home
3. 学会等名 22nd IEEE-ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel Distributed Computing (SNPD2021), (国際学会)
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Takuya Nakata,Sinan Chen,Masahide Nakamura
2 . 発表標題 Developing Event Routing Service to Support Context-Aware Service Integration
3 . 学会等名 22nd IEEE-ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel Distributed Computing (SNPD2021), (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Takuya Nakata,Sachio Saiki,Masahide Nakamura
2 . 発表標題 Characterizing Smart Systems with Interactive Personalization
3 . 学会等名 22nd IEEE-ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel Distributed Computing (SNPD2021), (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Hayato Ozono,Sinan Chen,Masahide Nakamura
2 . 発表標題 Study of Microservice Execution Framework Using Spoken Dialogue Agents
3 . 学会等名 22nd IEEE-ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel Distributed Computing (SNPD2021), (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 寺川 航平,陳 思楠,中村 匡秀
2 . 発表標題 クラス名構成単語に基づくソフトウェアアップサイクルに資する既存プロジェクトの理解・探索手法
3 . 学会等名 第2回次世代ソフトウェアエコシステムワークショップ,
4 . 発表年 2021年

1. 発表者名 Kento Matsuba,Sachio Saiki,Masahide Nakamura
2. 発表標題 Analyzing Heatstroke Patients in 2020 Using Emergency Big Data
3. 学会等名 22nd IEEE-ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel Distributed Computing (SNPD2021), (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sinan Chen,Masahide Nakamura
2. 発表標題 Designing an Elderly Virtual Caregiver Using Dialogue Agents and {WebRTC}
3. 学会等名 4th International Conference on Signal Processing and Information Security (ICSPIS2021), (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 明石拓弥,大浦秀喜,大園隼人,成松智輝,山名莉央,酒匂大輝,中井哲也,中村匡秀
2. 発表標題 ゲーミフィケーションに基づく地域理解動機付けのためのクイズラリアプラットフォームの試作
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告,Vol.121, No.229
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 徳田裕紀,佐伯幸郎,中村匡秀
2. 発表標題 傾聴システムにおける韻律特徴を活用した非言語的な共感応答の開発
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告,Vol.121, No.229
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sinan Chen, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Generating Personalized Dialogues Based on Conversation Log Summarization and Sentiment Analysis
3. 学会等名 The 23rd International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services (iiWAS2021), (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kazuki Unigame, Daiki Takatsuki, Sachio Saiki, Masahide Nakamura, Kiyoshi Yasuda
2. 発表標題 {Compass4SL}: a Service for Sharing Problems and Solutions for the Elderly at Home
3. 学会等名 22nd IEEE/ACIS International Fall Virtual Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing (SNPD2021), (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tetsuya Nakai, Sachio Saiki, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Medium-Term Prediction for Ambulance Demand of Heat Stroke using Weekly Weather Forecast
3. 学会等名 The 8th International Conference on Internet of Things: Systems, Management and Security (IOTSMS 2021), (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 陳思楠, 大園隼人, 中村匡秀
2. 発表標題 在宅高齢者のこころ外化のための異種データの統合分析
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.336, MICT2021-72
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 寺川 航平, 陳 思楠, 中村 匡秀
2. 発表標題 クラス名構成単語に基づく既存プロジェクトの目的・機能 の推測手法に関する予備的検討
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.318 SS2021-18
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊 輔, 中田 匠哉, 陳 思楠, 中村 匡秀
2. 発表標題 異種データ連携・可視化のためのFIWAREを活用したローコード開発手法の検討
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.318 SS2021-27
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中田 匠哉, 渡邊 輔, 陳 思楠, 中村 匡秀
2. 発表標題 Uni-messeとFIWAREの連携によるコンテキストウェアアプリケーションの効率開発
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.318 SS2021-28
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大園隼人, 陳思楠, 佐賀雅樹, 中村匡秀
2. 発表標題 音声対話エージェントとウェアラブルデバイスの連携による高齢者のセルフケア促進
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.336, MICT2021-71
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 明石拓弥, 大浦秀喜, 中井哲也, 中村匡秀
2. 発表標題 クイズラリープラットフォームを用いた市民の地域に対する意識調査と行動分析
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.415
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 堀江 寛, 陳 思楠, 中村 匡秀, 安田 清
2. 発表標題 動画を活用した在宅高齢者のためのストレス解消サービスの研究
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.381, HIP2021-59
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐賀雅樹, 大園隼人, 陳思楠, 中村匡秀
2. 発表標題 ウェアラブルデバイスを活用したストレスアウェアサービスの実現可能性評価
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.401, LOIS2021-41
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 明石拓弥, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 安田清
2. 発表標題 ALPS: Assisted Living by Personalized Speakerの実装と評価実験
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.424
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 陳思楠, 大園隼人, 中村匡秀
2. 発表標題 高齢者自助支援のための音声対話エージェントを用いたマルチモーダルダイアリーサービスの提案
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.437, SC2021-48
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中橋 友郎, 陳 思楠, 中村 匡秀
2. 発表標題 異種IoTとプラットフォームの連携を容易化するサービスの研究開発
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.437, SC2021-43
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中田 匠哉, 陳 思楠, 中村 匡秀
2. 発表標題 効率的なソフトウェアアップサイクルのための事例共有システムの検討
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.437 SC2021-47
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松場建都, 中村匡秀, 佐伯幸郎
2. 発表標題 火災状況の自動理解のためのオントロジー構築に向けた出火原因の自動検出
3. 学会等名 信学技報, Vol.121, No.424
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 長谷碧, 陳思楠, 中村匡秀
2. 発表標題 モチベーションの分類に基づくライフログアプリへのGamificationの導入と評価
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.401 L01S2021-42
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 徳田裕紀, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 韻律と発話内容に基づく非言語的な共感応答を用いた傾聴システムの実現
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.437 SC2021-47
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 陳思楠, 中村匡秀
2. 発表標題 ソフトウェアアップサイクルのためのプロジェクトカタログの主要属性の検討
3. 学会等名 第3回次世代ソフトウェアエコシステムワークショップ,
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 寺川 航平, 陳 思楠, 中村 匡秀
2. 発表標題 クラス名構成単語に基づくソフトウェアの概要推測に関する研究
3. 学会等名 第3回次世代ソフトウェアエコシステムワークショップ・ポスター発表,
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中井 哲也,佐伯 幸郎,中村 匡秀
2. 発表標題 熱中症搬送者数の中期予測手法の中規模地方自治体への適用
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告,Vol.121, No.416
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 関本竜吉,佐伯幸郎,中村匡秀,児玉直樹,佐藤厚
2. 発表標題 描画過程に基づく認知機能検査のデジタル化に向けたプラットフォームの作成
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告,Vol.121, No.416
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 寺川 航平,陳 思楠,中村 匡秀
2. 発表標題 プロジェクトコーパスを用いたソフトウェア概要推測手法の実験的評価
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告,Vol.121, No.416 SS2021-57
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中田 匠哉,陳 思楠,中村 匡秀
2. 発表標題 ソフトウェアアップサイクルにおける素材発見容易化のための知識ベースの検討
3. 学会等名 第3回次世代ソフトウェアエコシステムワークショップ・ポスター発表,
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 陳思楠,佐伯幸郎,中村匡秀
2. 発表標題 骨格センシングを用いた宅内身体活動の品質づけ手法の提案
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告,Vol.120, No.49, SC2020-1
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryukichi Sekimoto,Masahide Nakamura,Sachio Saiki
2. 発表標題 EVIDENT: Extraction and Visualization Interface of Drawing Execution in Neuropsychological Test
3. 学会等名 10th International Conference, DHM 2020, Held as Part of the 22nd HCI International Conference, HCII 2020,Vol.LNCS_12198, No.1 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yuki Tokuda,Masahide Nakamura,Sachio Saiki,Kiyoshi Yasuda
2. 発表標題 Extracting and Evaluating Personal Interests with Dialogue Agent
3. 学会等名 11th International Conference, DHM 2020, Held as Part of the 22nd HCI International Conference, HCII 2020,Vol.LNCS 12198, No.1 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Naoya Yabuki,Sachio Saiki,Masahide Nakamura
2. 発表標題 FD-CAST: A Tool for Analyzing and Simulating Fire Department Configurations
3. 学会等名 10th International Conference, DHM 2020, Held as Part of the 22nd HCI International Conference, HCII 2020, (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tetsuya Nakai, Sachio Saiki, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Fine-Grained Map Coloring Web Service for JavaScript
3. 学会等名 10th International Conference, DHM 2020, Held as Part of the 22nd HCI International Conference, HCII 2020, Vol. LNCS 12199, No. 2 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三浦稚咲, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 安田清
2. 発表標題 在宅高齢者を対象とした「こころ」の見守りサービスのフィードバック機能実装と評価
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 120, No. 136, HCS2020-33
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平山孝輔, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 表情センシングサービスを用いた在宅高齢者向け動画再生アプリの評価
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 120, No. 136, HCS2020-34
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kosuke Hirayama, Sachio Saiki, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Measuring user-defined facial features for supporting scientific long-term care
3. 学会等名 ISG's 12th World Conference of Gerontechnology, Vol. 19(suppl) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Masahide Nakamura, Kenji Hatano, Jun Miyazaki, Kiyoshi Yasuda, Noriaki Kuwahara, Hiroaki Kazuil, Sachio Saiki, Seiki Tokunaga, Mihoko Otake, Naoki Kodama, Naoko Kosugi
2 . 発表標題 Developing a Smart System Encouraging Self-Aid and Mutual Voluntary Aid for Elderly People at Home
3 . 学会等名 ISG's 12th World Conference of Gerontechnology, Vol.19(suppl) (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Chisaki Miura, Haruhisa Maeda, Sachio Saiki, Masahide Nakamura, Kiyoshi Yasuda
2 . 発表標題 Implementing Mind Monitoring Service for Elderly People at Home Using LINE Chatbot
3 . 学会等名 ISG's 12th World Conference of Gerontechnology, Vol.19(suppl) (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Chisaki Miura, Sachio Saiki, Masahide Nakamura, Kiyoshi Yasuda
2 . 発表標題 Implementing and Evaluating feedback feature of Mind Monitoring Service for Elderly People at Home
3 . 学会等名 The 22nd International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services (iiWAS2020), (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Kosuke Hirayama, Sachio Saiki, Masahide Nakamura
2 . 発表標題 Evaluating Video Playing Application for Elderly People at Home by Facial Expression Sensing Service
3 . 学会等名 The 22nd International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services (iiWAS2020), (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 関本竜吉, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 児玉直樹, 佐藤厚
2. 発表標題 神経心理学的描画検査における描画過程の可視化インターフェースEVIDENTの実装
3. 学会等名 nan, Vol.120, No.232 SC2020-31
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中井 哲也, 佐伯 幸郎, 中村 匡秀
2. 発表標題 救急出動記録を活用した熱中症に関連する救急需要の分析と予測
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.120, No.232 SC2020-31
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中田匠哉, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 インタラクティブに個人適応するスマートシステムの特徴づけ
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.120, No.324, L01S2020-38
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 矢吹直也, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 最適化問題に基づく消防局構成計画と事前評価システムの開発
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.120, No.324
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中田大翔, 室谷敏生, 中村匡秀
2. 発表標題 コロナ時代の密を考慮した避難所ナビゲーションアプリの開発
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.120, No.324, LOIS2020-39
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村 匡秀
2. 発表標題 IoTとバーチャルエージェントで見守る在宅高齢者の「こころ」
3. 学会等名 長崎大学IT先端技術習得講座・第3回成果発表会, (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三浦稚咲, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 安田清
2. 発表標題 在宅高齢者を対象とした「こころ」の見守りサービスの運用と品質評価
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.120, No.432, HCS2020-75
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sinan Chen, Sachio Saiki, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Using Human Pose Estimation for User-Defined Indoor Location Sensing
3. 学会等名 The 2021 International Workshop on Pervasive Information Flow (PerFlow'21), Held in conjunction with PerCom 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 陳思楠, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 エンドユーザのための個人適応エージェント対話フレームワークの開発
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.120, No.432, HCS2020-74
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 明石拓弥, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 安田清
2. 発表標題 在宅高齢者を支援する個人適応型スピーカーサービスの提案
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.120, No.434
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松場 建都, 佐伯 幸郎, 中村 匡秀
2. 発表標題 救急ビッグデータを活用した2020年の熱中症搬送者分析
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.120, No.434
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 平山孝輔, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 変化点検知を活用した顔特徴量時系列データからの注目点の抽出
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.120, No.432, HCS2020-78
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 雲丹亀和希, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 安田清
2. 発表標題 在宅高齢者を対象とした困り事・対処法共有サービスの実装
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.120, No.434, SC2020-42
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yuhao Chen, Jun Miyazaki
2. 発表標題 A Model-agnostic recommendations Explanation System Based on Knowledge Graph
3. 学会等名 The 31st International Conference on Database and Expert Systems Applications (DEXA2020) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yusuke Kimura, Kazuma Kusu, Kenji Hatano, Tokiya Baba
2. 発表標題 Automatic Terminology Extraction using A Dependency-Graph in NLP
3. 学会等名 Proceedings of the 9th World Congress on Information and Communication Technologies (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kazui H, Sato S, Yoshiyama K, Kanemoto H, Kosugi N, Ikeda M.
2. 発表標題 Success rate of various countermeasures against behavioral psychological symptoms of dementia based on the accumulation of real-world experience
3. 学会等名 IPA Virtual congress (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tokunaga S., Otake-Matsuura M.
2. 発表標題 Development of a Dialogue Robot Bono-06 for Cognitive Training of Older Adults
3. 学会等名 ISG's 12th World Conference of Gerontechnology, Vol.19(suppl) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Otake-Matsuura M., Tokunaga S.
2. 発表標題 Development of a group conversation support robot Bono-05 for cognitive health of older adults
3. 学会等名 ISG's 12th World Conference of Gerontechnology, Vol.19(suppl) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tokunaga S., Tamura K., Otake-Matsuura M.
2. 発表標題 Performance Evaluation of Text-Oriented Artificial Chat Operation System (TACOS)
3. 学会等名 10th International Conference, DHM 2020, Held as Part of the 22nd HCI International Conference, HCII 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Miyake N., Kumagai K., Tokunaga S., Otake-Matsuura M.
2. 発表標題 Towards Practical Use of Bedside Sensing/Voice-Calling System for Preventing Falls
3. 学会等名 10th International Conference, DHM 2020, Held as Part of the 22nd HCI International Conference, HCII 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Otake-Matsuura M. et al.
2. 発表標題 Services for Cognitive Health Co-created with Older Adults
3. 学会等名 6th International Conference, ITAP 2020, Held as Part of the 22nd HCI International Conference, HCII 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Rutkowski TM, Abe MS, Koculak M, Otake-Matsuura M.
2. 発表標題 Classifying Mild Cognitive Impairment from Behavioral Responses in Emotional Arousal and Valence Evaluation Task - AI Approach for Early Dementia Biomarker in Aging Societies -
3. 学会等名 42nd Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine & Biology Society (EMBC) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 陳思楠, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 複数のコグニティブAPIを活用した宅内コンテキスト認識 ~ 多数決アプローチ ~
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.119, No.66, SC2019-6
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masahide Nakamura
2. 発表標題 Improving Health and Quality of Life in One-Person Households Using IoT and Machine Learning
3. 学会等名 17th IEEE/ACIS International Conference on Software Engineering Research, Management and Applications (SERA 2019), (招待講演)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Sinan Chen,Sachio Saiki,Masahide Nakamura
2 . 発表標題 Proposal of Home Context Recognition Method Using Feature Values of Cognitive API
3 . 学会等名 20th IEEE-ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel Distributed Computing (SNPD2019), (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Koji Toda,Haruaki Tamada,Masahide Nakamura,Kenichi Matsumoto
2 . 発表標題 Characterizing Project Evolution on a Social Coding Platform
3 . 学会等名 20th IEEE-ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel Distributed Computing (SNPD2019), (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shota Nakatani,Sachio Saiki,Masahide Nakamura,Kiyoshi Yasuda
2 . 発表標題 Implementation and Evaluation of Personal Ontology Building System with Virtual Agent
3 . 学会等名 10th International Conference, DHM 2019, Held as Part of the 21st HCI International Conference, HCII 2019,Vol.LNCS 11582, No.2 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Haruhisa Maeda,Sachio Saiki,Masahide Nakamura,Kiyoshi Yasuda
2 . 発表標題 Memory Aid Service Using Mind Sensing and Daily Retrospective by Virtual Agent
3 . 学会等名 10th International Conference, DHM 2019, Held as Part of the 21st HCI International Conference, HCII 2019,Vol.LNCS 11582, No.2 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Kosuke Hirayama,Sachio Saiki,Masahide Nakamura
2. 発表標題 Developing Real-Time Face Identification Device Composable with Distributed Applications
3. 学会等名 10th International Conference, DHM 2019, Held as Part of the 21st HCI International Conference, HCII 2019,Vol.LNCS 11582, No.1 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wei-Dong Zheng,Ben Yan,Zhi-Xian Li,Hua-Ping Yao,Li-Li Wei,Masahide Nakamura
2. 発表標題 Research on Path Planning Algorithm for Two-Dimensional Code Guidance Model of Automated Guided Vehicle
3. 学会等名 10th International Conference, DHM 2019, Held as Part of the 21st HCI International Conference, HCII 2019,Vol.LNCS 11582, No.1 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平山孝輔,佐伯幸郎,中村匡秀
2. 発表標題 ユーザ定義の顔特徴量をリアルタイム計測可能な表情センシングサービスの検討
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告,Vol.119, No.178, SC2019-17
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久米 出,新田 直也,中村 匡秀,柴山 悦哉
2. 発表標題 Java 全知デバッガを用いた複雑な繰り返し実行のデバッグを効率的に支援する繰り返し要約機能
3. 学会等名 日本ソフトウェア科学界第36回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三浦稚咲, 前田晴久, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 安田清
2. 発表標題 在宅高齢者を対象とした「こころ」の見守りサービスの試作と予備的評価
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.119, No.165, WIT2019-9
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢吹直也, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 Ambulance Service Reviewer: 様々な時間粒度で救急活動を振り返るアプリケーション
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.119, No.178, SC2019-13
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前田晴久, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 安田清
2. 発表標題 在宅高齢者に向けた「こころ」センシングのためのルールベース問い合わせ機構
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.119, No.165, WIT2019-10
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kosuke Yuki, Atsushi Keyaki, Jun Miyazaki, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Accurate Aggregation Query-Result Estimation and Its Efficient Processing on Distributed Key-Value Store
3. 学会等名 21st International Conference on Big Data Analytics and Knowledge Discovery (DaWaK 2019), (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村 匡秀, 戸田 航史, 玉田春昭, 松本健一
2. 発表標題 自発的ソフトウェア進化を促すプロジェクト状態の推定
3. 学会等名 日本機械学会 第 29 回設計工学・システム部門講演会, No. 2413
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinan Chen, Sachio Saiki, Masahide Nakamura
2. 発表標題 Recognizing Fine-Grained Home Contexts Using Multiple Cognitive APIs
3. 学会等名 11th International Conference on Cyber-Enabled Distributed Computing and Knowledge Discovery (CyberC2019), (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Haruhisa Maeda, Sachio Saiki, Masahide Nakamura, Kiyoshi Yasuda
2. 発表標題 Recording Daily Health Status with Chatbot on Mobile Phone - A Preliminary Study -
3. 学会等名 the 12th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU 2019), (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高塚 由利子, 村上 優佳紗, 角田 雅照, 中村匡秀
2. 発表標題 ソフトウェア開発における性別とプログラム読解速度との関係
3. 学会等名 ソフトウェア工学の基礎ワークショップ FOSE2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	Lucas Gisselaire, Florian Cario, Quentin Guerre-berthelot, Bastien Zigmann, Lydie du Bousquet, Masahide Nakamura
2. 発表標題	Toward Evaluation of Deployment Architecture of ML-based Cyber-Physical Systems
3. 学会等名	1st International Workshop on Software Engineering for Infrastructure and Configuration Code (SEConfig2019), Held as Part of Automated Software Engineering Workshop (ASEW) (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	高槻大貴, 中村匡秀, 佐伯幸郎, 安田清
2. 発表標題	在宅高齢者を対象とした困りごと対処法推薦・共有サービスの提案
3. 学会等名	電子情報通信学会技術研究報告, Vol.119, No.275, SC2019-25
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Masahide Nakamura
2. 発表標題	Image as a Document: Towards Affordable and Practical Home Context Recognition
3. 学会等名	2019 2nd Artificial Intelligence and Cloud Computing Conference (AICCC2019), (招待講演)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Chisaki Miura, Haruhisa Maeda, Sachio Saiki, Masahide Nakamura, Kiyoshi Yasuda
2. 発表標題	Prototyping and Preliminary Evaluation of Mind Monitoring Service for Elderly People at Home
3. 学会等名	21st International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services (iiWAS2019), (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 Haruhisa Maeda, Sachio Saiki, Masahide Nakamura, Kiyoshi Yasuda
2. 発表標題 Rule-Based Inquiry Service to Elderly at Home for Efficient Mind Sensing
3. 学会等名 21st International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services (iiWAS2019), (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中谷将大, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 エージェントとの個人適応対話シナリオ作成実行基盤の開発
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.119, No.477, LOIS2019-82
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 徳田裕紀, 佐伯幸朗, 中村匡秀, 安田清
2. 発表標題 対話エージェントを活用した個人関心事の抽出と評価
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.119, No.482, SC2019-35
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 矢吹直也, 佐伯幸郎, 中村匡秀
2. 発表標題 消防局の構成を分析・シミュレーションするツールの研究開発
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.119, No.477, LOIS2019-83
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高槻大貴,佐伯幸郎,中村匡秀,安田清
2. 発表標題 Compass4SL:在宅高齢者を対象とした困り事対処法共有サービス
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告,Vol.119, No.477, LOIS2019-81
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平山孝輔,佐伯幸郎,中村匡秀,安田清
2. 発表標題 高齢者ケアの科学的な評価を目的としたユーザ定義の顔特徴量の測定
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告,Vol.119, No.482, SC2019-37
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中井 哲也,佐伯 幸郎,中村 匡秀
2. 発表標題 スマートシティ・アナリティクスのための 細粒度地図彩色Web サービスの提案
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告,Vol.119, No.477, LOIS2019-80
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kosuke Hirayama,Sachio Saiki,Masahide Nakamura,Kiyoshi Yasuda
2. 発表標題 Capturing User-defined Facial Features for Scientific Evidence of Elderly Care
3. 学会等名 The 2020 International Workshop on Pervasive Information Flow (PerFlow'20), Held in conjunction with PerCom 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masahide Nakamura
2. 発表標題 Keynote: Affordable and Practical Home Context Recognition with Image as a Document Approach
3. 学会等名 2020 International Workshop on Pervasive Information Flow (PerFlow'20), Held in conjunction with the 18th Annual IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications (PerCom 2020), (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三浦稚咲, 前田晴久, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 安田清
2. 発表標題 LINE チャットボットを用いた 在宅高齢者の「こころ」の見守りサービスの実証実験
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.119, No.477, LOIS2019-80
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 関本竜吉, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 児玉直樹, 佐藤厚
2. 発表標題 EVIDENT: 神経心理学的描画検査における描画過程の可視化及び可視化インターフェース
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.119, No.482, SC2019-35
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 數井裕光
2. 発表標題 認知症ちえのわnetから見えてきたBPSDの現状と対応
3. 学会等名 第38会日本認知症学会学術集会: シンポジウム23 BPSDの成因と対応
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 数井裕光
2. 発表標題 SINPHON12と認知症ちえのわnet
3. 学会等名 第31回老年学会総会：合同シンポジウム2 老年学における認知症研究の最前線
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazui H, Sato S, Yoshiyama K, Kanemoto H, Kosugi N, Ikeda M.
2. 発表標題 Success rate of various countermeasures against behavioral psychological symptoms of dementia based on the accumulation of real-world experience
3. 学会等名 International Congress of International Psychogeriatric Association (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Seiki Tokunaga, Mihoko Otake-Matsuura
2. 発表標題 Design of Design of Coimagination Coimagination Support Dialogue System Pluggable Dialogue System -Towards Long-Term Experiment
3. 学会等名 10th International Conference, DHM 2019, Held as Part of the 21st HCI International Conference, HCII 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seiki Tokunaga, Katie Seaborn, Kazuhiro Tamura, MihokoOtake Otake-Matsuura
2. 発表標題 Cognitive Training for Older Adults with a Dialogue-Based Robot-Facilitated Storytelling System
3. 学会等名 12th International Conference on Interactive Digital Storytelling (ICIDS 2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fangmeng ZENG, Noriaki KUWAHARA
2. 発表標題 Developing Emotion Prediction System using Smart Textiles for People with Dementia
3. 学会等名 10th International Conference, DHM 2019, Held as Part of the 21st HCI International Conference, HCII 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fangmeng ZENG, Noriaki KUWAHARA
2. 発表標題 Textile EEG Cap for Emotion Prediction of People with Dementia
3. 学会等名 10th International Conference, DHM 2019, Held as Part of the 21st HCI International Conference, HCII 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安田 清
2. 発表標題 もの忘れや認知症の人向けのAssistive Technologyを健常高齢者に伝える ”もの忘れアドバイザー ” の養成
3. 学会等名 2019年日本高次脳機能障害学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安田 清
2. 発表標題 もの忘れアドバイザーの養成
3. 学会等名 2019年みんなの認知症情報学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyoshi Yasuda
2. 発表標題 Daily Support for People with dementia using Assistive Technology; Low, Middle, and High-tech Interventions
3. 学会等名 CBCS Atrium, The University of south Florida, USA (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 楠和馬, 波多野賢治
2. 発表標題 ネイティブグラフデータベースにおける再帰的走査の効率化に向けた経路管理方法の提案
3. 学会等名 情報処理学会研究報告, Vol.2019-DBS-169
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuma Kusu, Kenji Hatano
2. 発表標題 Recurrent Path Index for Efficient Graph Traversal
3. 学会等名 2019 IEEE International Conference on Big Data (Big Data) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 楠和馬, 波多野賢治
2. 発表標題 部分グラフ検索高速化のためのハブ節点を考慮した関係辺の再帰走査法
3. 学会等名 第12回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平方俊行, 楠和馬, 波多野賢治
2. 発表標題 クエリログの部分的利用を考慮したグラフの集約演算高速化
3. 学会等名 第12回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Jun Miyazaki
2. 発表標題 High Performance Data Processing for Big Data
3. 学会等名 the 10th Korea-Japan (Japan-Korea) Database Workshop 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuhao Chen, 宮崎純
2. 発表標題 知識グラフに基づくモデル独立型推薦解釈システム
3. 学会等名 電子情報通信学会技術研究報告, vol. 119, no. 354, DBS-170
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tarek Aoukar, Jun Miyazaki
2. 発表標題 Graph Navigation Query in an Edge Streaming Graph Database
3. 学会等名 The 12 th Forum on Data Engineering and Information Management (DEIM 2020)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岸嘉丸, 宮崎純
2. 発表標題 知識グラフを利用した協調フィルタリングにおけるユーザ間の類似度について
3. 学会等名 第12回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2020)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 左近健太, 宮崎純
2. 発表標題 コピュラを用いたスコア統合方式の改良による情報検索の高精度化
3. 学会等名 第12回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2020)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>中村匡秀 業績リスト https://researchmap.jp/read0054710</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	波多野 賢治 (HATANO Kenji) (80314532)	同志社大学・文化情報学部・教授 (34310)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	宮崎 純 (MIYAZAKI Jun) (40293394)	東京工業大学・情報理工学院・教授 (12608)	
研究分担者	安田 清 (YASUDA Kiyoshi) (60523165)	大阪工業大学・情報科学部・客員教授 (34406)	
研究分担者	桑原 教彰 (KUWAHARA Noriaki) (60395168)	京都工芸繊維大学・情報工学・人間科学系・教授 (14303)	
研究分担者	数井 裕光 (KAZUI Hiroaki) (30346217)	高知大学・教育研究部医療学系臨床医学部門・教授 (16401)	
研究分担者	佐伯 幸郎 (SAIKI Sachio) (40549408)	高知工科大学・データ&イノベーション学教室・准教授 (26402)	
研究分担者	徳永 清輝 (TOKUNAGA Seiki) (90835092)	国立研究開発法人理化学研究所・革新知能統合研究センター・特別研究員 (82401)	
研究分担者	大武 美保子 (OTAKE Mihoko) (10361544)	国立研究開発法人理化学研究所・革新知能統合研究センター・チームリーダー (82401)	
研究分担者	児玉 直樹 (KODAMA Naoki) (50383146)	新潟医療福祉大学・医療技術学部・教授 (33111)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小杉 尚子 (KOSUGI Naoko) (80589648)	専修大学・ネットワーク情報学部・准教授 (32634)	
研究分担者	グライナー 智恵子 (Greiner Chieko) (20305270)	神戸大学・保健学研究科・教授 (14501)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	横田 政江 (YOKOTA Masae)	よりあい処れん	
研究協力者	當山 房子 (TOYAMA Fusako)	あかゆら	
研究協力者	露崎 雄太 (TSUYUZAKI Yuta)	おゆみ野中央病院	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
フランス	University of Grenoble Alps		
中国	洛陽理工学院		